

令和五年十月二十三日 信者心の基勉強会 家庭編

神 示

人間は皆 「心の道」に魂を受け継ぎ 誕生する
生命の誕生に偶然はない

心の道のつながりて 時代が決まる

信者に申す

和心が育つ 家庭の関わりが 悟れていようか

神見るに 「真理」で関わる意識が薄い

知識と経験を頼る姿が見える

病気 事故・災難を引き込む実体を 正す努力が必要

家族で「教え」を学び 「真理」に生きる 家族の関わりが

和心を育てる

自然と家族の心は一つに重なり 会話も増える

魂が安らぐ家庭の真実を知って

「真理」に生きる姿に合わせて

神は誕生の時代を決める

魂が安らぐ家庭がつなぐ「心の道」は

太く 強くつながり 良き因が受け継がれてゆく

その家庭は ますます栄え 神の手の中 守られる

徳人が育つ家庭の姿と申す